

## 報告書

# 2018タイ遠征

Thailand Junior & Cadet Open

ITTF GLOBAL JUNIOR CIRCUIT PREMIUM EVENT

2018. 5/7~5/14



主 催 (公財) 全国高等学校体育連盟卓球専門部

## 大会スナップ





# 平成30年度全国高体連卓球専門部海外遠征 [タイジュニアオープン]

1. 期 日 (1)大会 5月9日(水)～5月13日(日)  
 (2)集合 5月7日(月) 8:50 成田空港  
 (3)解散 5月14日(月) 7:00 成田空港
2. 会 場 「Fashion Island,Island Hall 3rd Floor」  
 587,589,589/7-9 Ramintra Rd.  
 Kannayao,Bangkok,Thailand 10230 Tel +662 947 5000
3. 宿 泊 先 「The Grand Four Wings Convention Hotel」(予定)  
 333 Srinakarin Road,Huamark,Bangkapi,Bangkok 10240,THAILAND  
 Tel +662 378 8000

## 4. 日 程

|             |                  |                        |                                                 |
|-------------|------------------|------------------------|-------------------------------------------------|
|             | 5/6(日)           | 17:00<br>17:30         | 成田東部エアポートホテル集合<br>結団式                           |
| 1           | 5/7(月)           | 8:50<br>10:50<br>15:20 | 成田空港 タイ国際航空カウンター 集合<br>空港発 (TG-641便)<br>バンコク空港着 |
| 2           | 5/8(火)           | 9:00<br>～16:00         | 練習                                              |
| 3<br>～<br>7 | 5/9(水)<br>～13(日) | 9:00<br>～21:00         | 大会<br>種目 団体・シングルス<br>バンコク空港発 (TG-640便)          |
| 8           | 5/14(月)          | 6:20<br>7:00           | 成田空港着<br>解団式、解散                                 |

## 5. 役員・選手名簿

| 役 職  | 氏 名   | 所 属       | 備 考 |
|------|-------|-----------|-----|
| 団 長  | 塚田 博文 | 長野工業高等学校  |     |
| 男子監督 | 若森 均  | 埼玉栄高等学校   |     |
| 女子監督 | 神谷 卓磨 | 愛み大瑞穂高等学校 |     |
| 男子選手 | 星 翔太  | 鶴岡東高等学校   |     |
|      | 岩永 宜久 | 帝京安積高等学校  |     |
|      | 福原 明雄 | 埼玉栄高等学校   |     |
|      | 阿部 悠人 | 希望が丘高等学校  |     |
| 女子選手 | 千葉 菜月 | 遊学館高等学校   |     |
|      | 真鍋 雅  | 山陽女子高等学校  |     |
|      | 里川 奈優 | 明德義塾高等学校  |     |
|      | 中田 玲奈 | 愛み大瑞穂高等学校 |     |

# 平成30年度全国高体連卓球専門部海外遠征結果

ITTF Golden Series Junior Circuit  
★SET 2018タイジュニア&カデットオープン★  
(2018.5.7-14、バンコク)

男子団体 3位  
女子団体 準優勝  
女子シングルス 千葉 菜月 3位

## ○男子団体 予選リーグ (グループ2位通過)

|     |     |       |                       |
|-----|-----|-------|-----------------------|
| 予選① | 日 本 | 1 - 3 | タイA                   |
| 予選② | 日 本 | 3 - 1 | ヨルダン／カナダ／オーストラリア混成チーム |
| 予選③ | 日 本 | 3 - 0 | 韓国C                   |

## 決勝トーナメント

|       |     |       |                           |
|-------|-----|-------|---------------------------|
| ●1回戦  | 日 本 | 3 - 0 | カザフスタン／パナマ／イラン／スリランカ混成チーム |
| ●準々決勝 | 日 本 | 3 - 1 | フランス                      |
| ●準決勝  | 日 本 | 0 - 3 | 中国                        |

## ○女子団体 予選リーグ (グループ1位通過)

|     |     |       |       |
|-----|-----|-------|-------|
| 予選① | 日 本 | 3 - 0 | 中国香港A |
| 予選② | 日 本 | 3 - 0 | タイA   |
| 予選③ | 日 本 | 3 - 0 | 韓国C   |

## 決勝トーナメント

|       |     |       |            |
|-------|-----|-------|------------|
| ●準々決勝 | 日 本 | 3 - 2 | 韓国D        |
| ●準決勝  | 日 本 | 3 - 2 | チャイニーズタイペイ |
| ●決 勝  | 日 本 | 0 - 3 | 中国         |

## ○男子シングルス 予選リーグ

|     |        |       |                            |
|-----|--------|-------|----------------------------|
| 予選① | 星翔太    | 3 - 1 | 鄭栢晞(中国香港)                  |
| 予選② | (2位通過) | 0 - 3 | 匡勵(中国)                     |
| 予選① | 岩永宜久   | 3 - 1 | YU Zong Jun Gerald(シンガポール) |
| 予選② | (1位通過) | 3 - 2 | OH Gyeongmin(韓国)           |
| 予選③ |        | 3 - 0 | WU Chiou-Shin(チャイニーズタイペイ)  |
| 予選① | 阿部悠人   | 3 - 0 | KENZHIGULOV Aidos(カザフスタン)  |
| 予選② | (1位通過) | 3 - 0 | CHIN Wen Jie(マレーシア)        |
| 予選③ |        | 3 - 0 | TAYAPITAK Chanakan(タイ)     |
| 予選① | 福原明雄   | 3 - 0 | 彭旨(チャイニーズタイペイ)             |
| 予選② | (1位通過) | 3 - 1 | JUNG Seongwon(韓国)          |
| 予選③ |        | 3 - 2 | SAMRANVONG Wattanachai(タイ) |

## 決勝トーナメント

|     |      |       |                           |
|-----|------|-------|---------------------------|
| 1回戦 | 岩永宜久 | 4 - 0 | HAN Yeongseom (韓国)        |
| 1回戦 | 阿部悠人 | 4 - 0 | 金文洙 (韓国)                  |
| 1回戦 | 星翔太  | 4 - 0 | HAZIN Jeremy (カナダ)        |
| 1回戦 | 福原明雄 | 4 - 0 | LIM Kyuhyun (韓国)          |
| 2回戦 | 岩永宜久 | 1 - 4 | DE NODREST Leo (フランス)     |
| 2回戦 | 阿部悠人 | 0 - 4 | PANG Yew En Koen (シンガポール) |
| 2回戦 | 福原明雄 | 0 - 4 | PANAGITGUN Yanapong (タイ)  |
| 3回戦 | 星翔太  | 0 - 4 | 向鵬 (中国)                   |

## ○女子シングルス 予選リーグ

|     |        |       |                            |
|-----|--------|-------|----------------------------|
| 予選① | 中田玲奈   | 3 - 0 | MEKAMPORN Naja (タイ)        |
| 予選② | (1位通過) | 3 - 1 | 範姝涵 (中国)                   |
| 予選③ |        | 3 - 1 | YUN Arin (韓国)              |
| 予選① | 里川奈優   | 3 - 1 | MUSKANTOR Rebecca (スウェーデン) |
| 予選② | (2位通過) | 3 - 1 | PHOMMA Thapanee (タイ)       |
| 予選③ |        | 0 - 3 | HONG Sunsui (韓国)           |
| 予選① | 千葉菜月   | 2 - 3 | 王添芸 (中国)                   |
| 予選② | (2位通過) | 3 - 0 | KIM Nayeong (韓国)           |
| 予選③ |        | 1 - 3 | 嚴浩晴 (中国香港)                 |
| 予選① | 真鍋雅    | 3 - 2 | 吳詠琳 (中国香港)                 |
| 予選② | (1位通過) | 3 - 0 | KOLA Nanapat (タイ)          |
| 予選③ |        | 3 - 1 | LEE Gayeon (韓国)            |

## 決勝トーナメント

|       |      |       |                           |
|-------|------|-------|---------------------------|
| 1回戦   | 真鍋雅  | 4 - 1 | SAFAEI Shima (イラン)        |
| 1回戦   | 千葉菜月 | 4 - 0 | TEE Ai Xin (マレーシア)        |
| 1回戦   | 里川奈優 | 1 - 4 | 陳熠 (中国)                   |
| 1回戦   | 中田玲奈 | 4 - 1 | 許煒 (中国香港)                 |
| 2回戦   | 真鍋雅  | 2 - 4 | SELVAKUMAR Selena (インド)   |
| 2回戦   | 千葉菜月 | 4 - 1 | 于修婷 (チャイニーズタイペイ)          |
| 2回戦   | 中田玲奈 | 4 - 0 | AKASHEVA Zauresh (カザフスタン) |
| 3回戦   | 千葉菜月 | 4 - 0 | KANG Eunji (韓国)           |
| 3回戦   | 中田玲奈 | 4 - 1 | 蘇珮綾 (チャイニーズタイペイ)          |
| ●準々決勝 | 千葉菜月 | 4 - 1 | 楊屹韵 (中国)                  |
|       | 中田玲奈 | 1 - 4 | 黃凡真 (中国)                  |
| ●準決勝  | 千葉菜月 | 0 - 4 | 錢天一 (中国)                  |

## 2018 タイジュニアサーキットに参加して

団長 長野工業高校 塚田 博文

5月6日～14日までの日程で、タイの首都バンコクで行われました世界ジュニアツアーに、男子監督の若森先生、女子監督の神谷先生、男女各4名の選手の計11名で参加させていただきました。今年は、男女とも4人目のエントリー選手がシングルスに出場できるか否かの大会本部からの決定が遅れ、出発1週間前ようやく全員がエントリーされたことを確認できたというハプニングがありましたが、国際大会では、よくあることのようにです。

今年驚いたのは、近年参加していなかった、中国男女とフランス男子が参加したことにより、大会のレベルが急に上がったことです。世界ジュニアランキング上位に位置している選手が大勢いる中で、日本選手は誰もポイントを持っておらず、団体、個人ともにノーシードからのスタートでした。逆にこれが功を奏し、日本選手はノンプレッシャーで戦うことができ、世界ランク上位選手に勝って、団体



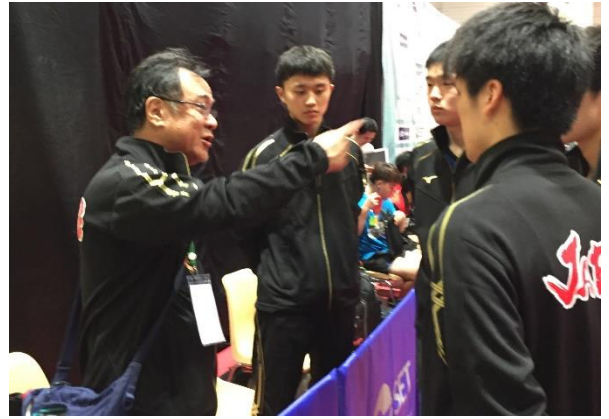
では女子が2位、男子が3位に入賞できました。選手にとっても大きな自信につながったと思います。

ポイントを持って大会に臨めるかどうかは、とても大切なことであることがわかりました。今後は、協会とタイアップし、より多くの選手が国際大会に参戦できるようになれば、選手の意識も上がり、一層日本のレベルが上がると確信しました。以下に、行程記録をまとめ、報告いたします。

- 5/6 東部エアポートホテルに集合し、結団式を行いました。安西理事長から、『体調管理に注意を払い他国の選手と交流する中で、技術はもちろん、習慣・文化の違いを感じてきてほしい』と激励の言葉をいただきました。
- 5/7 朝10時50分に成田を出発し、6時間のフライトで予定通りタイのスワンパーム空港に到着しました。宿舎は、今年も5つ星の素晴らしいホテルに、参加した約20ヶ国の選手関係者が全て泊まり、食事も充実していました。
- 5/8 朝から大会会場で公式練習が行われ、男女監督のもとで、明日から始まる大会の調整をみっちり行いました。夜、8時から宿泊ホテルの会議室で監督会議が行われました。団体戦の組み合わせは、個人ポイントの合計が、チームポイントとしてシードされるので、残念ながら日本チームは男女ともノーシードでした。
- 5/9 団体戦予選リーグが行われ、男子はタイA、ヨルダン／カナダ／オーストラリア混成チーム、韓国Cと同リーグで、2勝1敗で2位。女子は中国香港A、タイA、韓国Cと同じリーグで、全勝の1位とともに、決勝トーナメント進出を決めた
- 5/10 男子は準々決勝でフランスに3－1で勝利したが、準決勝で中国に0－3で敗退した。女子は、準々決勝で韓国Dに3－2で、準決勝でチャイニーズタイペイに3－2で勝利したが、決勝では中国に0－3で惜敗した。
- 5/11 男女シングルス予選リーグが行われ、各リーグ2位以上が決勝トーナメント進出のため、全員決勝トーナメント進出を決めた。
- 5/12 決勝トーナメントベスト8決定まで行われたが、女子田中選手と千葉選手以外は、敗退した。
- 5/13 準々決勝から行われたが、千葉選手が唯一3位に入賞した。決勝、表彰式が行われ、19時修了。ホテルに戻り、荷物をまとめ空港へ移動。
- 5/14 朝7時、日本に到着。成田空港で解団式を行い、解散。

この遠征に際して、日本卓球協会・各メーカー・高体連卓球専門部、そして、同行していただいた若森先生、神谷先生、男女各4選手には、素晴らしい感動を与えていただき感謝申し上げます。

団体戦が始まった。17チームが五つのブロックに分かれて決勝トーナメント進出を争う。日本チームは5ブロック目に入った。ヨルダン・カナダ・オーストリア混成チームと韓国Cには快勝したものの、地元タイに惜敗し2位で決勝トーナメントに進出。抽選の結果20時からベスト8進出をかけて、カザフスタン・パナマ・イラン・スリランカ混成チームと対戦。エアコンが切れて、高温多湿の中、選手は最後の気力を振り絞り競り合いながらも3-0で勝利。準々決勝へと駒を進めた。



一夜明けて、入賞をかけての準々決勝。対するは今大会中国に次ぐ優勝候補のフランスチーム。一番阿部が相手のチキータレシーブに苦しみながらもゲームのオールデューズで貴重な先取点。2番の星は1-2でリードされた4セット目、マッチポイントを取られながらも、15-13で踏ん張り3-2で勝利した。3番、ここまで全勝の福原。しかし、3番のローランドに、0-3で敗退。4番、星。1番で阿部を苦しめたランバート相手に2-1リード。勝利を意識したか、後半サービスが台から出てしまいセットオール。5セット目前半リードされるものの、ラリー戦を制し、逆転。あと一本でマッチポイント。そこから相手の粘りでデューズになるが、気力で振り切って勝利し、ベスト4進出を決めた。苦しい戦いであったが、阿部、星両選手の粘りと頑張りは特筆すべきものがあつた。

フランスを破り事実上の決勝となった中国との準決勝。選手は初日と違って大会の雰囲気や海外の選手との対戦に慣れ、徐々に本来の力以上のものが出てきている。楽しみな戦いになった。こちらは、1番阿部、2番星、3番岩永と必中国勝のオーダーで臨んだ。1番阿部の豪打が中国選手に襲いかかり、試合は1-1で3セット目を迎えた。さすがの中国選手、精度の高いストップレシーブと変化サービスでペースを崩され1-3負け。2番星は最後まで先手を取れず0-3負け。3番岩永。2ゲーム目から中国選手の卓球に徐々に慣れていき、3ゲーム目を取り、4ゲーム目も前半からリード。善戦するも、最後の一本が取れず、ゲームオールに持ち込むことはできなかった。惜しくも1-3負けとなり、中国に0-3で敗退した。その後個人戦が始まり、全員が予選リーグを突破。星がベスト16他の選手はベスト32という成績で大会を終えた。今回の大会は中国や、ヨーロッパの国々が多数参加するなど、全体の出場数が多く、選手たちにとって大変良い経験になったと思う。また、大会が進むにつれて選手たちが本来の力を出し、日に日に強くなっていく様子が目に見えて分かり、成果の上がる大会であった。

大会を通じて気が付いた点は、ボールの速さや回転量は、海外の選手に敵わないが、戦術や細かいプレーの精度は、中国選手に次いで、日本の選手が優れていることだ。これは日本選手の不断の努力とたゆまぬ研鑽のたまものであろう。中国選手においては、フォアハンドの強さと台上のストップ技術の精度の高さがひかっており、中国卓球の強さを改めて感じた。

最後に初めての海外大会の監督で、各学校からお預かりした優秀な選手達の力を十分に引き出すことができず恐縮しております。今回の大会で学んだことをこれからの指導に生かしていきたいと思ひます。

今回のタイ・ジュニアサーキットへの参加はとても貴重な経験となりました。

まずは、高温多湿の独特な気候や試合のタイムスケジュールの大幅な遅れなど、国内大会ではあまり経験することのできない過酷な状況下での試合を経験することができました。このことで、多少の湿気や試合の遅れで集中力を切らしてしまう日本人選手の弱さを感じることができました。

次に、日本人選手が世界から受けている評価の高さを感じさせられました。昨今の日本代表選手の方々の活躍により、対戦前から「日本人選手は強い」という先入観を持っている海外選手が多いと感じました。

技術的な面ではそれほど差はなくても、相手が意識してくれることで楽に勝てるという試合も多かったように思います。日本という国が世界から卓球強豪国であるという評価を受けている証拠だと感じました。

技術面では、「中国人選手はドライブの威力がある」という先入観を持ちすぎてしまい、攻守のバランスを崩してしまう試合が多くありました。先に相手に打たせてからブロックでチャンスを作る展開や、相手に下から持ち上げさせたボールをカウンターで狙う展開などのパターン練習が非常に重要だと感じました。

最後に団長の塚田先生を始め、男子監督の若森先生には大会を通じて多くのことを学ばせていただきました。私がこのように無事、本大会を終えることができたことは、諸先生方のお陰だと心から感謝しております。そして、私を女子監督に選出してくださり、このような素晴らしい経験をさせていただいた全国高体連の皆様に深く感謝申し上げます。



今回、初めてジュニアサーキットに参加させて頂き、たくさんの貴重な経験をすることができました。日本ではあまり使われていない卓球台やタマスのG40+ボール。そして、赤マットという環境で最初は自分のプレーが上手くできませんでした。環境に慣れるということは、とても大切だと思いました。

今大会は団体3位で個人はベスト32位という結果でした。団体戦では若森監督が自分のことを最初から最後まで信じてくださり、試合に起用して下さいました。タイと中国戦ではどちらもレースに負けて期待に応えることができませんでしたが、試合ができたことに感謝しています。

試合の反省点はレシーブ力と、点数の駆け引きになった時、勝負所の戦術です。特に負けた試合の原因はレシーブミスと質の低さでした。個人戦では左利きのサービスに対して、バック側にしかレシーブをすることができませんでした。試合の駆け引きについては、3本リードをしている時が一番勝負所だと思いました。2点差と4点差では全く流れが違うので一番大切だと思います。今大会の経験を生かして、国内の試合で良い成績を出せるように頑張っていこうと思います。



タイ遠征では学ぶことが多くありました。強い選手はサービス、レシーブで相手を崩すことが出来ていました。自分はレシーブからの展開で得点することがなかなか出来ずリードして試合を進めることが出来ませんでした。中国の選手などはチキータなどの強いボールとストップやツッツキなどで相手に打たせてからラリーにしている時があったので、これからは、相手に打たせてから4球目で責めるパターンを作ることが出来るように工夫していきたいです。



また、ラリーになった時に強いボールを連続で打つと相手に強いカウンターをされてしまいました。しかし、ループドライブに対してや、打点の早いプレーに対してはミスをしていることがありました。今後は、緩急をつけることや、打点の早いプレーでラリーをできるようにしていきたいです。

団体戦では勝つことが出来ずチームに迷惑をかけてしまいました。アドバイスなどをいただき、良いプレーをできるようになってきたので今回学んだことを忘れずにこれから結果を残せるようにしていきたいです。

この度は遠征に行かせて頂きありがとうございました。とても良い経験をさせて頂きました。団体戦では予選から2点起用させて頂きました。厳しい試合がたくさんありましたが勝つことが出来ました。しかし、全て勝てたわけではありませんでした。負けた原因をきちんと見つけて帰ってからの練習に生かしたいと思います。



団体戦で3位に入れた事は、すごく自信になりました。精神面でも強くなれたと思います。シングルスはベスト16でした。予選リーグを2位で抜けて決勝トーナメントに進みました。特にベスト16決定戦は本当に苦しい試合でした。先に2セット取られてしまっていて何もできない状態でした。しかし戦術を変えて声を出して頑張り4-3で勝つ事が出来ました。

この遠征を通してたくさんの課題が見つかりました。

課題は自分の弱点の部分です。今後は、弱点を得意にして得点に繋げられるようにしたいです。この度は遠征に行かせて頂き貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

今回、自身初めてとなる海外試合のジュニアサーキットに参加させていただいて良い経験をたくさんする事が出来ました。団体戦は三位で、シングルスはベスト32と言う結果でした。目標であった団体戦での優勝はできませんでしたが、大会を通して自分の卓球の反省点を見つけることができました。

今大会の反省点は、試合の調子が良い時と調子が良くない時の差が大きい事です。シングルス

の予選リーグを抜けたあとの一回戦は出だしから強気で臨み、相手が打ってきたボールに対する処理の仕方やサービスの配分などがきっちり出来ていました。気持ち的にも楽になり4対0で勝つ事が出来ました。

しかし二回戦でも一回戦と同様にきっちりとやろうと思ってもなかなかうまくいかず、焦ってしまいテンポが狂ってしまって、簡単に点数を取られ、そのまま4対0で負けてしまいました。やはりこうした苦しい場面での対処の方法がまだまだ甘い事が分かりました。

これからの練習ではそういう点も直していくと同時に中国人選手から学んだ技術を練習していきたいと思います。そして、これからの国内の大会や国際大会でもっと活躍できる選手になっていきたいと思います。

遊学館高校 千葉 葉月

この度は、タイジュニアサーキットに参加させていただきありがとうございました。団体戦では2位という結果でしたが自分の中では全然満足の結果ではありませんでした。決勝まではチームみんなで協力できて全員で3試合勝つことができていましたが、決勝の中国戦では、緊張などいろいろな感情があり、全然自分のプレーができませんでした。

シングルスでは3位でしたが、自分の課題がたくさん分かりました。1本欲しい時にラリーで粘らなければいけないのにすぐに打ってミスをしてしまうことやフォアサイドのボールに対して足が出ないこと。レシーブがツッツキばかりでプレーが単純なことなどまだまだたくさんありますが、克服できる課題から克服し、次に生かしていきたいです。

今回私は試合期間に体調を崩してしまい、先生・チームメイト・関係者の方々にたくさん迷惑をかけ、助けていただきました。本当にありがとうございました。今後はプレーだけでなく体調管理もしっかり行っていきたいです。

山陽女子高校 真鍋 雅

タイ・ジュニアサーキットに参加させていただき、貴重な経験がたくさんできました。ありがとうございました。

団体戦では、昨年も一昨年も優勝という素晴らしい結果を残しているのですが、プレッシャーを感じていました。決勝の中国戦では、相手は強いという固定概念にとらわれて、思うように自分の卓球ができないままの惨敗だったのでとても悔しかったです。

個人選では、手足の長い海外選手を相手に両サイド



にばかり打ってしまいました。日本人選手が相手なら返ってこないボールも簡単に返ってくるので、もっとミドルへのコース取りをしっかりとできるように練習していきます。

私は今回が初めての国際大会だったのですが、何の心配もなく、試合に集中できたのは、いろいろな面でサポートしてくださった先生方やチームメイトのおかげだと思います。一週間本当にありがとうございました。

明德義塾高校 里川 奈優

今回はタイジュニアサーキットに参加させていただき、貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。

今大会で一番強く思った事は、自分とトップの中国人選手との差です。中国人選手のつなぎのボールの質が高さ、下回転に対するドライブの安定感、どのコースへも打ち分けられるコントロール力、ラリーになった時の粘り強さ、これらを支えるための強いフィジカル。自分とは違うところばかりでした。



この差を縮めていくためには、もう一度今の自分の卓球を改め直していく必要性を感じました。毎日ボールの質を上げる事を意識して練習したり、もっとトレーニングを取り入れたりしていこうと思います。そして、苦しい場面でも粘り強く強いメンタルで戦えるように日頃から苦しい事や苦手な事に自分からチャレンジしていきたいと思います。

これからインターハイに向けて今回の経験を生かし頑張っていきます。一週間、本当にありがとうございました。今回、タイジュニアサーキットに参加させていただき、ありがとうございました。タイは、気温や湿度が高かったり、言葉が上手く通じなかったりと大変だった部分もあったのですが、とても貴重な経験をすることができました。

愛み大瑞穂高校 中田 玲菜

今大会の反省点は、試合中の気持ちの持ち方です。自分がリードしているのに消極的なプレーをしてしまったり、一本相手に点数を取られると気持ちを切り替えることができずにそのまま連続失点してしまったりすることが多かったので、そういう精神面をもっと強くしていきたいと思っています。海外での試合は始めてでしたが、勝つこともできて自信になる部分もありました。この遠征で自分の良い点、悪い点を見つけることができたので、今回学んだことをこれからの練習や試合に生かして、良い結果を残す選手になれるよう頑張ります。一週間ありがとうございました。

